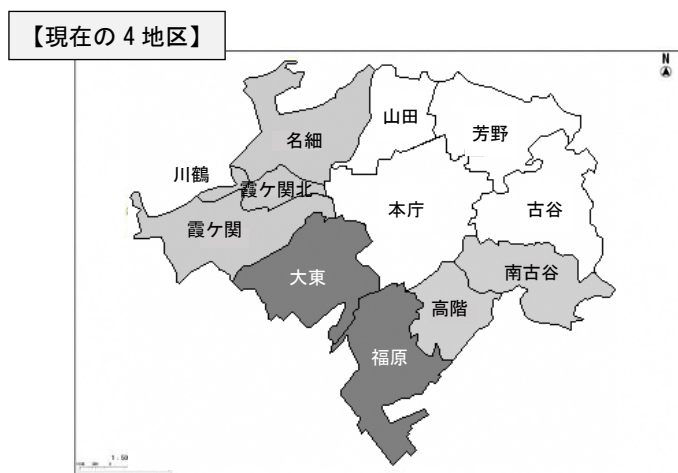


保育提供区域の見直しについて

1 保育提供区域について

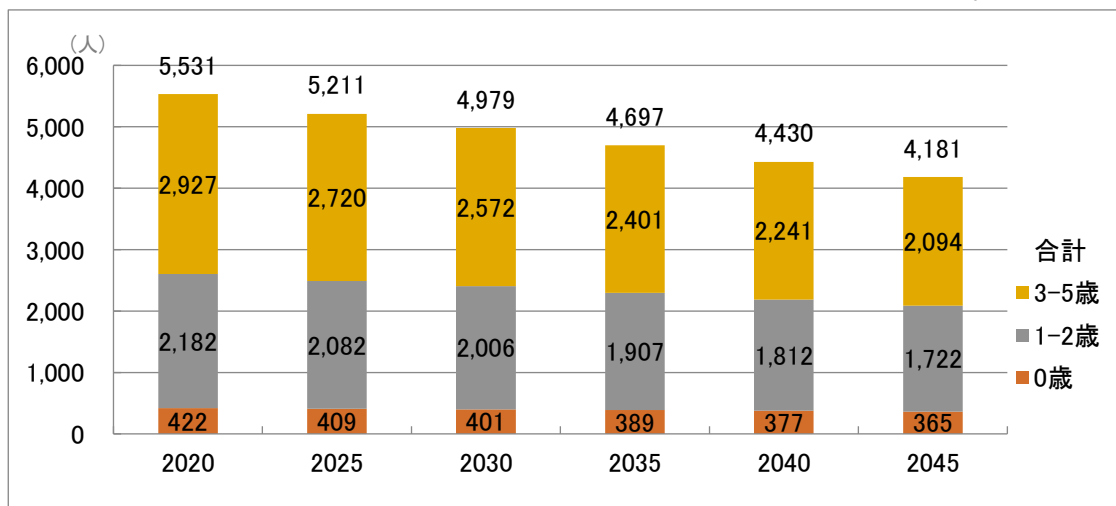
子ども・子育て支援法第61条では、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育提供施設の整備状況その他の条件を総合的に勘案し、教育・保育提供区域を設置することとしています。

本市の保育提供区域は、現行計画において4区域として設定しています。公立保育所のあり方の検討にあたり、就学前児童数の推移や地区の保育ニーズなどの実態に即したうえで、量と質の確保を図ることのできる区域とすることが必要と考え、きめ細やかに検討しようとするため区域の細分化を図ろうとするものです。



2 第2期子ども・子育て支援事業計画を基に算出した将来ニーズ量の見通し

第2期子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度以降量の見込みが減少する計画としています。今後25年間このままの状況で推移した場合、本市の量の見込みは、5,531人（令和2（2020）年度）から4,181人（令和27（2045）年度）と約25%減少するものと見込まれます。



3 各地区の保育施設の通園状況（令和2年4月現在）

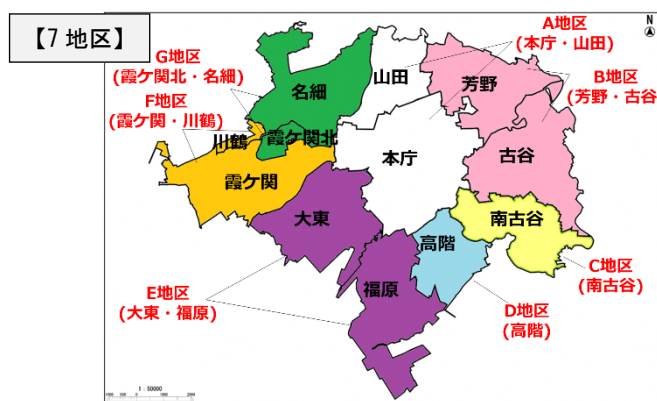
- 山田、芳野、福原、霞ヶ関北地区は、公立保育所がなく、保育施設が少ないため、居住地区内での利用率が低い。単独での区域設定が困難である。
- 南古谷、福原地区は、保育提供区域内における利用率が低い。古谷地区では園児に対して定員数が多く、南古谷地区の児童が施設を利用している。また、福原地区の児童は、大東、本庁、高階地区の施設利用が多いなど、南古谷、福原地区は、児童の多くが区域外で保育所を利用している。
- 本庁地区の施設を利用する園児は、川鶴地区を除く各地区からの利用者が一定数存在する。山田、芳野地区の児童は特に本庁地区での利用率が高い。本庁地区は、単独区域あるいは山田地区と一体の地区として提供が可能である。
- 本庁、古谷、高階、霞ヶ関、名細、川鶴地区は、仮に児童が居住地区内で通うこととなった場合においても、定員は充足している。本庁地区のほか、高階地区は、人口規模などから単独でも区域として保育提供が可能である。

■保育施設の所在地と児童の居住地の状況（令和2年4月21日現在）

保育施設所在地	在園児居住地														合計
	本庁	山田	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	霞ヶ関	霞ヶ関北	名細	川鶴	市外		
本庁	1,285	106	30	12	17	57	78	137	27	18	40	0	1	1,808	
山田	73	63	2	0	0	4	0	8	6	1	16	0	2	175	
芳野	8	28	20	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	63	
古谷	44	19	26	120	161	15	6	10	3	0	10	0	3	417	
南古谷	15	2	3	14	249	60	5	2	0	0	1	0	1	352	
高階	36	0	0	0	1	23	543	107	7	2	1	0	1	721	
福原	2	0	0	0	1	12	67	3	0	0	0	0	0	85	
大東	62	0	0	0	0	8	63	366	20	2	3	2	1	527	
霞ヶ関	9	0	2	0	1	0	2	6	359	52	25	20	3	479	
霞ヶ関北	1	0	0	0	0	0	0	1	23	39	25	3	0	92	
名細	21	0	1	0	3	0	0	0	33	49	313	20	1	441	
川鶴	0	0	0	0	0	0	0	0	13	7	14	10	0	44	
合計	1,556	218	84	150	458	699	328	540	486	169	448	55	13	5,204	
居住地区内利用率	82.6%	28.9%	23.8%	80.0%	54.4%	77.7%	20.4%	67.8%	73.9%	23.1%	69.9%	18.2%	-	-	
保育提供区域内利用率	90.6%	99.1%	92.9%	90.0%	59.4%	86.3%	39.6%	68.3%	88.1%	87.0%	84.2%	96.4%	-	-	
本庁地区利用率	82.6%	48.6%	35.7%	8.0%	3.7%	8.2%	23.8%	25.4%	5.6%	10.7%	8.9%	0.0%	-	-	
保育施設定員数	1,899	200	70	500	422	789	80	530	507	100	497	60	-	5,654	
居住地区内園児/定員数	81.9%	109.0%	120.0%	30.0%	108.5%	88.6%	410.0%	101.9%	95.9%	169.0%	90.1%	91.7%	-	-	

4 保育提供区域（案）

保育提供区域については、保育ニーズ量、保育園児の通園状況、保育施設数などを考慮し、現計画の4地区を細分化し7地区に見直す。



【参考】新区域について（保育園数、定員数は令和2年4月1日現在）

現行区域	地区	新区域	地区	保育園数	定員数
A	本庁、山田、芳野、古谷	A	本庁、山田	36園（公立7園、民間29園）	2,099人
		B	芳野、古谷	8園（公立2園、民間6園）	570人
B	南古谷、高階	C	南古谷	9園（公立2園、民間7園）	422人
		D	高階	12園（公立3園、民間9園）	789人
C	福原、大東	E	福原、大東	10園（公立1園、民間9園）	610人
D	霞ヶ関、川鶴、霞ヶ関北、名細	F	霞ヶ関、川鶴	8園（公立3園、民間5園）	627人
		G	霞ヶ関北、名細	9園（公立2園、民間7園）	597人

